

○労働保険との徴収事務の一元化

### 労働保険との徴収事務の一元化

- 平成18年度から、以下の取組を実施。
  - ア 双方の保険料を滞納している事業所に係る納付督促について、社会保険の職員が実施
  - イ 双方の調査対象事業所に係る共同調査について、労働保険の職員が実施
  - ウ 徴収事務センターで受け付ける労働保険の届出書の範囲の拡大
  - エ 事業所説明会開催時期の統一(3月又は4月に統一)
- 労働保険における年度更新と社会保険の算定基礎届の提出期限を統一。

労働保険との徴収事務の一元化を推進する。

## 4. 予算執行の無駄の排除

### 「緊急対応プログラム」に基づく業務改革の取組

○ 社会保険事務所における事業コストの管理

○ 年金福祉施設等に保険料財源を投入しない  
○ 年金福祉施設等の整理合理化  
○ インターネットを活用した予算・決算の情報提供

○ 競争入札及び企画競争の原則化  
○ 調達委員会の設置  
○ 調達コスト削減目標の設定  
○ 会計の内部監査の強化  
○ 監修料の受け取り禁止

○ 社会保険オンラインシステムの最適化計画の策定

### 「業務改革プログラム」に基づく取組

予算積算と決算との乖離の是正【新規】

○ 執行結果を予算要求に反映。

事業コストの管理・分析

○ 事業単位コードを各業務のコスト管理に活用し、実績とコストの相関関係について分析。

社会保険新組織にふさわしい特別会計の構築【新規】

○ 厚生保険特別会計及び国民年金特別会計を統合。  
○ 船員保険特別会計について、健康保険相当部分を全国健康保険協会等に移管した上で、労働保険特別会計に統合。

会計及び予算執行における効率性・透明性の確保【新規】

○ 年金事務費への保険料充当の仕組みを恒久化。  
○ 「必要な施設をすることができる」旨の規定の廃止及び保険料財源により実施する事業の範囲の明確化。

社会保険オンラインシステムの刷新

○ サーバを中心とした柔軟性のあるシステム構成への刷新、コンピュータセンター（3カ所）の機能統合などによりシステム運用経費を削減。  
○ 原則、一般競争入札による調達、ハードウェア・ソフトウェアの分離調達などにより費用構造の透明性を確保。  
○ システム部門の組織強化、システム調達に関する専門知識の共有、業務研修の充実により管理運営機能を強化。  
○ バックアップセンターの設置や個人情報保護対策などにより安全性・信頼性を確保。

### 到達目標

◇ 効率性・透明性・厳格性が徹底された会計の仕組み、予算執行を確立する。

◇ システムの刷新、調達方式の見直し等により、システム関連のトータルコストの低減及び業務運営の合理化を図る。

## 5. 個人情報保護の徹底

### 「緊急対応プログラム」に基づく業務改革の取組

- 職員毎のカード番号の固定化
- 本人識別パスワードの導入
- 氏名索引照会処理へのアクセス制限

- 被保険者記録へのアクセス内容の監視

- 社会保険庁電子計算機処理データ保護管理規程の見直し

- 個人情報に関する業務の委託先の選定、業務監督等の厳格化

- 開示請求窓口設置等の体制整備

### 「業務改革プログラム」に基づく取組

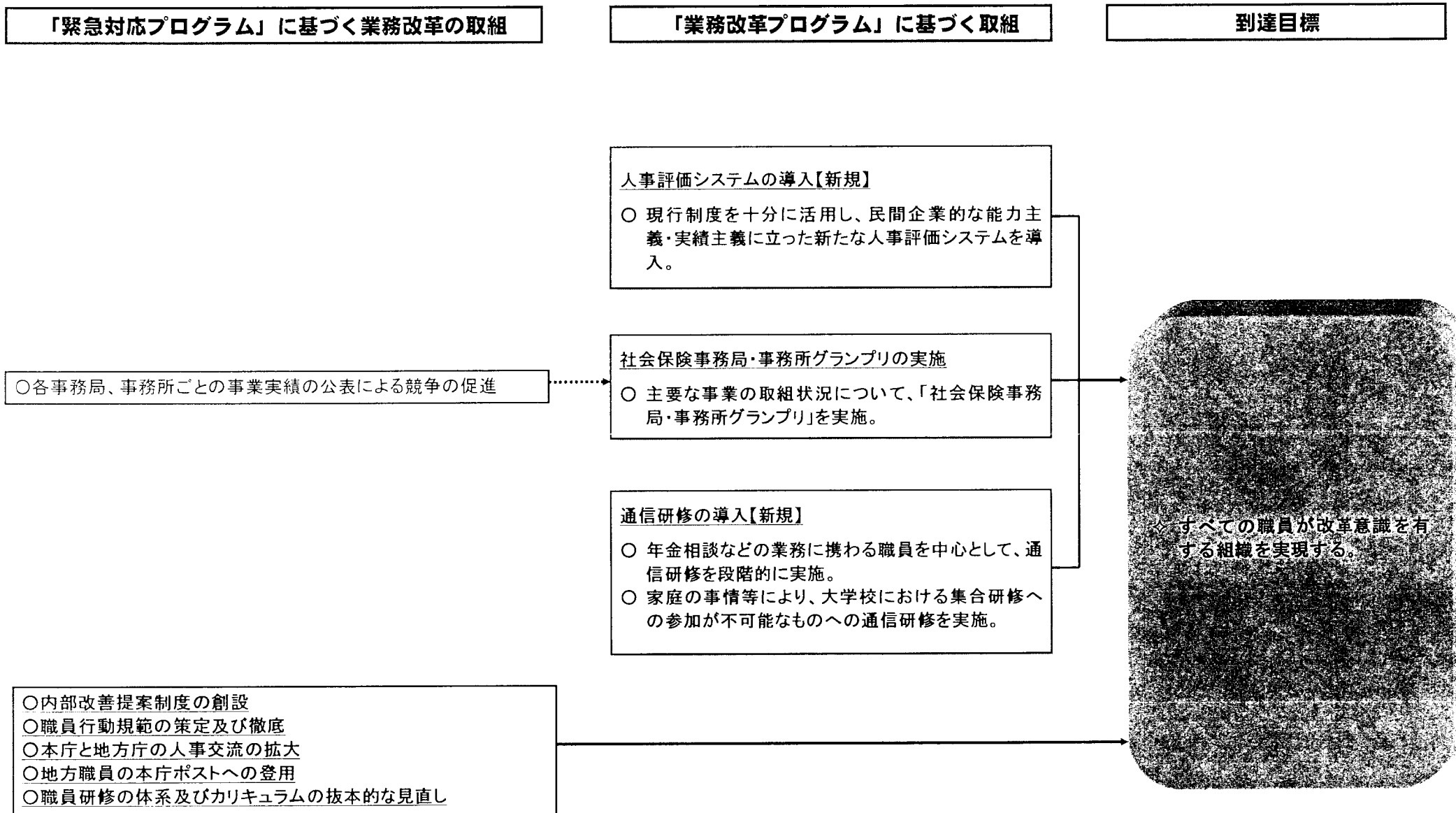
#### 個人情報保護の徹底

- ねんきん事業機構における年金個人情報の利用・提供に関する規定の整備。
- 基礎年金番号の法定化。

### 到達目標

個人情報保護の重要性についての認識が徹底された職場を実現する。

## 6. 意識改革の徹底



## 7. 組織内部の改革

### 「緊急対応プログラム」に基づく取組

- 社会保険事業運営評議会の設置
- 経済界の協力による顧問、プロジェクトリーダー等の配置
- 内部通報制度の導入及びコンプライアンス委員会の設置
- 社会保険事業計画の見直し
- 年金の給付誤り等の事例の適切かつ迅速な公表

### 「業務改革プログラム」に基づく取組

### 到達目標

◇ 内部統制（ガバナンス）の確保された組織を実現する。